

平成 22 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	
Ⅱ類	特定種別には Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ類を入力 Ⅰ類 1500 kL未満の事業所のみを複数有し、合算で1500 kL以上となる特定事業者 Ⅱ類 1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 Ⅲ類 3年連続して1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 Ⅳ類 (任意) 1500 kL未満の事業所のみを有し、合算して1500 kL未満となる事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	A G S株式会社
所在地	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11
事業者番号	※初回提出時に県で付与
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	2,899
店舗面積 (該当する場合)	
産業分類名 (中分類)	情報サービス業
分類番号 (中分類)	39
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、資本金等)	事業内容：情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売 従業員数：430 資本金：10億円
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	

(3) 地球温暖化対策推進者（事業者で1人以上）

所属部署	電話番号
総務部	048-825-6217

(4) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号 ※初回提出時に県で付与	事業所名	前年度のエネルギー 原油換算使用量(kL)
単独で1500kL以上の事業所		
	本社	2,814
1500 kL未満の事業所の合算		
		85
合計		2,899

(5) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.ags.co.jp/csr/environment/index.html
<input checked="" type="checkbox"/> 埼玉県内の事業者又は事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社
	所在地 1	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11
	閲覧可能時間 1	平日 8:40~17:20
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

(6) 公表の担当部署

名称 (複数可)		連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
1	総務部	048-825-6067	048-825-6219	ags-ga.mg@ags.co.jp
2				
3				

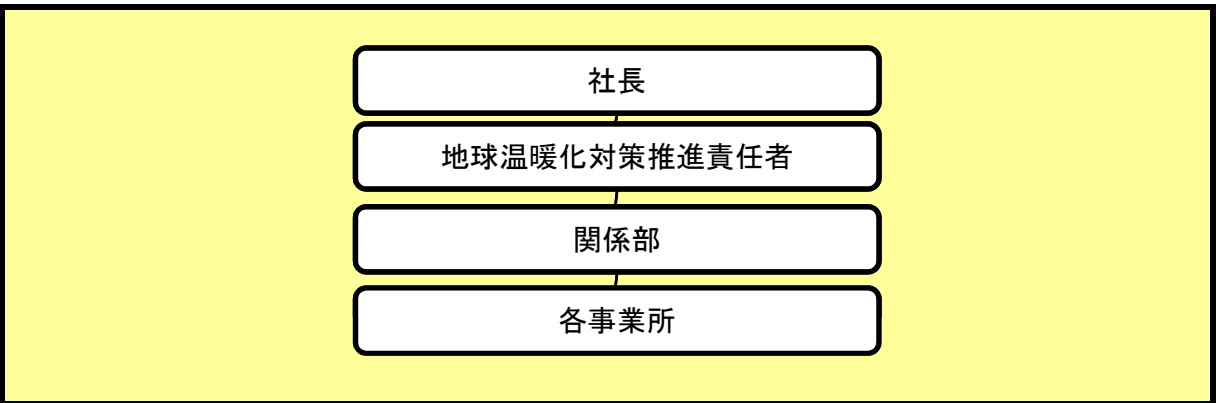
2 地球温暖化対策推進における基本方針 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

AGSグループは、「ITで夢のある社会づくり」を使命とする企業理念のもとに、環境保全と事業活動の調和を図り、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

企業理念に基づき、次の環境マネジメント活動を実施する。

1. すべての事業活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減を推進する。
2. AGSグループが提供するソリューションや各種商品・サービスを通じて、お客様の環境への負荷軽減に貢献する。
3. 基本方針を達成するため、環境目的・目標を設定し、AGSグループ全社員をあげて環境マネジメントを推進する。

3 地球温暖化対策における推進体制 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂					
非エネルギー起源CO ₂					
その他温室効果ガス					

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 22 年度

事業所番号

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 年間原油換算使用量1,500kL未満の小規模事業所の合算
A	

(2) 事業所及び事業活動

事業所名	国保会館	ほか	事業所
所在地	埼玉県さいたま市中央区大字下落合1704	ほか	か所
エネルギー原油換算 使用量(kL) (前年度)	85		
産業分類名 (中分類)	情報サービス業		
分類番号 (中分類)	39		
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 敷地面積、延べ床面積等)	事業内容 : ソフトウェア開発 システム機器販売 従業員数 : 50名 延べ床面積 : 951.99㎡		
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)			

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計画期間		22 年度	～	26 年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	(必須) エネルギー原単位を前年度比、年平均1%改善する。		
	非エネルギー起源CO ₂	(該当する排出がある場合は必須)		
	その他の温室効果ガス	(CO ₂ 以外の温室効果ガスを年間3,000t-CO ₂ 以上排出している場合は必須)		
	温室効果ガス (上記合計)	エネルギー原単位を前年度比、年平均1%改善する。		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

			計 前 年 度 出 度	計画期間				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
CO ₂	エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	目標		113				
		実績	127					
	非エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	目標						
		実績						
	CO ₂ の 合 計	目標		113				
		実績	127					
そ の 他 の 温 室 ガ ス 効 果	メ タ ン	目標						
		実績						
	一 酸 化 二 窒 素	目標						
		実績						
	ハイドロフルオロカーボン	目標						
		実績						
	パーフルオロカーボン	目標						
		実績						
	六 フ ッ 化 硫 黄	目標						
		実績						
	そ の 他 温 室 効 果 ガ ス 合 計	目標						
		実績						
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		目標		113				
		実績	127					

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況

CO₂換算（t-CO₂/㎡）

エネルギー起源CO ₂			計 前 年 度	計 画 期 間					
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排 出 量 原 単 位	単 位	目 標		0.1192					
		実 績	0.1338						
活 動 規 模 の 指 標	○	生産量	○○あたり						
	○	出荷額	○○あたり						
	○	従業員数	○○あたり						
	●	床面積	㎡あたり	952					
	○	() (※自由記載)	○○あたり						

※○○には活動規模の指標となる単語を記入してください。例 m、t、百万円 など

※その他の原単位（例：非エネルギー起源を含んだすべてのCO₂ など）を記載したい場合は、別紙4号に記載してください。

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号 ※1 基準年度以降及び計画書提出前年度は必修
※2 ※1以外は分かる範囲で記載 }

5 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量			
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12			
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂			
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）			kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ		
		原油のうちコンデンセート（NGL）			kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ		
		揮発油（ガソリン）			kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ		
		ナフサ			kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ		
		灯油			kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ		
		軽油			kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ		
		A重油			kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ		
		B・C重油			kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ		
		石油アスファルト			t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ		
		石油コークス			t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ		
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）			t	50.8		GJ/t		0.0161	t-C/GJ	
			石油系炭化水素ガス			千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ	
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）			t	54.6		GJ/t		0.0135	t-C/GJ	
			その他可燃性天然ガス			千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ	
		石炭	原料炭			t	29		GJ/t		0.0245	t-C/GJ	
			一般炭			t	25.7		GJ/t		0.0247	t-C/GJ	
			無煙炭			t	26.9		GJ/t		0.0255	t-C/GJ	
		石炭コークス			t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ		
		コールタール			t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ		
		コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ		
		高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ		
		転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ		
		その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³		千Nm ³	45		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
		産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ		
		産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ		
		温水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ		
		冷水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ		
		小計											
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258		0.386	t-CO ₂ /千kWh		
			夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh		
		その他の買電			千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh		
		小計											
	外部供給	自ら生成した熱の供給			GJ				0.000	t-CO ₂ /GJ			
		自ら生成した電力の供給			千kWh				0.000	t-CO ₂ /千kWh			
		小計											
合計							0.0258						

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ
		揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ
		ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ
		灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ
		軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ
		B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ
		石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ
		石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
			一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ
			無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ
		石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ
		コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ
		コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ
		高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ
		転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ
		その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
		産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ
		産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		小計								
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
			夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
		その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					0.000	t-CO ₂ /GJ
		自ら生成した電力の供給		千kWh					0.000	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	合計						0.0258			

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ
		揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ
		ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ
		灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ
		軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ
		B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ
		石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ
		石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
			一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ
			無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ
		石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ
		コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ
		コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ
		高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ
		転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ
		その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
		産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ
		産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		小計								
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
			夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
		その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					0.000	t-CO ₂ /GJ
		自ら生成した電力の供給		千kWh					0.000	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	合計						0.0258			

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量		
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12		
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂		
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油（コンデンセートを除く）			kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ		
	原油のうちコンデンセート（NGL）			kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ		
	揮発油（ガソリン）			kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ		
	ナフサ			kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ		
	灯油			kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ		
	軽油			kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ		
	A重油			kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ		
	B・C重油			kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ		
	石油アスファルト			t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ		
	石油コークス			t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ		
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t			0.0161	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.0142	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t			0.0135	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.0139	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.0245	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.0247	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.0255	t-C/GJ		
	石炭コークス			t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ		
	コールタール			t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ		
	コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ		
	高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ		
	転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ		
	その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³		千Nm ³	45		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
			13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
			13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
			12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
			6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
	産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ				0.0600	t-CO ₂ /GJ	
	産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ	
	温水			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ	
	冷水			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ	
	小計											
電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258		0.386	t-CO ₂ /千kWh		
		夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	その他の買電			千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計											
外部供給	自ら生成した熱の供給			GJ				0.000	t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給			千kWh				0.000	t-CO ₂ /千kWh			
	小計											
合計						0.0258						

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量			
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12			
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂			
エネルギー 起源CO ₂	燃料 及び熱	原油（コンデンセートを除く）			kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ		
		原油のうちコンデンセート（NGL）			kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ		
		揮発油（ガソリン）			kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ		
		ナフサ			kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ		
		灯油			kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ		
		軽油			kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ		
		A重油			kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ		
		B・C重油			kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ		
		石油アスファルト			t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ		
		石油コークス			t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ		
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t			0.0161	t-C/GJ		
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.0142	t-C/GJ		
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t			0.0135	t-C/GJ		
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.0139	t-C/GJ		
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.0245	t-C/GJ		
			一般炭		t	25.7	GJ/t			0.0247	t-C/GJ		
			無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.0255	t-C/GJ		
		石炭コークス			t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ		
		コールタール			t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ		
		コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ		
		高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ		
		転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ		
		その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³		千Nm ³	45		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
				6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ	
		産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ				0.0600	t-CO ₂ /GJ	
		産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ	
		温水			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ	
		冷水			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ	
		小計											
電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）	346	千kWh	9.97	GJ/千kWh	3,450	0.0258	89	0.386	t-CO ₂ /千kWh	134	
		夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	その他の買電			千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計						3,450			89		134	
外部供給	自ら生成した熱の供給			GJ					0.000	t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給			千kWh					0.000	t-CO ₂ /千kWh			
	小計												
合計							3,450	0.0258	89		134		

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量			
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12			
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂			
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油（コンデンセートを除く）			kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ			
	原油のうちコンデンセート（NGL）			kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ			
	揮発油（ガソリン）			kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ			
	ナフサ			kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ			
	灯油			kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ			
	軽油			kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ			
	A重油			kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ			
	B・C重油			kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ			
	石油アスファルト			t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ			
	石油コークス			t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ			
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t			0.0161	t-C/GJ			
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.0142	t-C/GJ			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t			0.0135	t-C/GJ			
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.0139	t-C/GJ			
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.0245	t-C/GJ			
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.0247	t-C/GJ			
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.0255	t-C/GJ			
	石炭コークス			t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ			
	コールタール			t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ			
	コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ			
	高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ			
	転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ			
	その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³		千Nm ³	45		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
			13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
			13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
			12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
			6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
	産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ				0.0600	t-CO ₂ /GJ		
	産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ		
	温水			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ		
	冷水			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ		
	小計												
電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		360	千kWh	9.97	GJ/千kWh	3,589	0.0258	93	0.386	t-CO ₂ /千kWh	139
		夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	その他の買電			千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計						3,589			93		139	
外部供給	自ら生成した熱の供給			GJ						0.000	t-CO2/GJ		
	自ら生成した電力の供給			千kWh						0.000	t-CO2/千kWh		
	小計												
合計							3,589	0.0258	93			139	

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ
		揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ
		ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ
		灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ
		軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ
		B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ
		石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ
		石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
			一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ
			無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ
		石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ
		コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ
		コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ
		高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ
		転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ
		その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
		産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ
		産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		小計								
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		363	千kWh	9.97	GJ/千kWh	3,619	
			夜間（22時～翌8時）			千kWh	9.28	GJ/千kWh		
		その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh
		小計					3,619		93	140
	外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					0.000	t-CO ₂ /GJ
		自ら生成した電力の供給		千kWh					0.000	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	合計						3,619	0.0258	93	140

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量	
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12	
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂	
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油（コンデンセートを除く）			kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ	
	原油のうちコンデンセート（NGL）			kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ	
	揮発油（ガソリン）			kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ	
	ナフサ			kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ	
	灯油			kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ	
	軽油			kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ	
	A重油			kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ	
	B・C重油			kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ	
	石油アスファルト			t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ	
	石油コークス			t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ	
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t			0.0161	t-C/GJ	
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.0142	t-C/GJ	
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t			0.0135	t-C/GJ	
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.0139	t-C/GJ	
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.0245	t-C/GJ	
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.0247	t-C/GJ	
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.0255	t-C/GJ	
	石炭コークス			t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ	
	コールタール			t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ	
	コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ	
	高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ	
	転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ	
	その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
			13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
			13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
			12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
			6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
	産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ	
	産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ	
	温水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ	
	冷水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ	
小計											
電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）	330	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258	85	0.386	t-CO ₂ /千kWh	127
		夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電			千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	小計					3,290		85		127	
外部供給	自ら生成した熱の供給			GJ				0.000	t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給			千kWh				0.000	t-CO ₂ /千kWh		
	小計										
合計						3,290	0.0258			127	

	種類		使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②
			数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t		2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t		2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t		1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t		2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t		2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t		1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t		0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL		2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL		2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t		1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t		0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t		0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t		0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t		0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t		0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t		0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t		1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t		0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t		2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL		2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t		3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t		3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t		2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³		2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³		0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³		2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t		2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t		0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t		1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t		0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t		3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t		0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t		1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t		1 t-CO ₂ /t	
	小計					
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン			t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素			t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン					
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン					
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄			t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計					
合計						

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合	計				

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合	計				

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

No	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	180200	その他	18_その他	OCR機の運用方法見直しによる機器台数の削減	平成22年度	平成22年度の途中から実施
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(1) 温室効果ガスの推移

CO₂換算 (t-CO₂)

※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基準年 ※2								
燃料等使用量の原油換算量 (kL)	0	0	0	0	89	93	93	85
エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0	134	139	140	127
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0	0	0	0	0
その他温室効果ガス								
メタン	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイドロフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0
パーフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0
六フッ化硫黄	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	134	139	140	127

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

(2) 原単位

CO₂換算 (t-CO₂/m²)

※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基準年 ※2								○
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位					0.1403	0.1460	0.1472	0.1338
活動規模の指標	○ 生産量	〇〇あたり						
	○ 出荷額	〇〇あたり						
	○ 従業員数	〇〇あたり						
	● 床面積	m ² あたり			951.99	951.99	951.99	951.99
	○ () (※自由記載)	〇〇あたり						

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

ＡＧＳグループの平成２１年度の環境分野への取組は以下のとおりである。

１．地域環境活動

(１) 自然環境活動（植林活動）

平成２１年１０月３１日（土）、「埼玉県森林づくり協定」に基づき、埼玉県東秩父村の二本木峠と埼玉高原牧場用地にツツジ、コナラ、カエデやモミジなど約４００本の苗木を植樹しました。

来年度も約４００本の苗木を植樹する予定であり、森林の果たす役割（二酸化炭素の吸収、県土の保全、水資源のかん養、生物多様性の保全等）の重要性を認識し、植林活動を推進します。

(２) 教育支援活動

環境保護と教育支援活動の推進を図るために、ベルマーク（カートリッジの回収）や古紙等を地域小学校PTAへ毎年度提供しています。

２．環境管理活動

(１) 電気使用量の削減

① ＡＧＳグループオフィス系執務室の平成２１年度の削減は１，７８５，５４１Kwhとなり、平成２０年度比４．３％削減を行いました。

３．その他

チャレンジ２５への参加登録を実施しました。

チームマイナス６％の切替ですが、引続き平成２１年度も「クールビズ」、「ウォームビズ」の実施、グリーン購入（エコマーク、グリーンマーク、グリーン購入法適合商品を優先的に購入する）の推進を図っています。

平成 22 年度

事業所番号

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	B 年間原油換算使用量1,500kL以上の事業所（Cの事業所を除く） C 検討中
B	（例：3年度連続年間原油換算使用量1,500kL以上の事業所）

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	本社		
所在地	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11		
直近3年のエネルギー 原油換算使用量(kℓ)	21年度	20年度	19年度
	2,814	2,632	2,611
産業分類名（中分類）	情報サービス業		
分類番号（中分類）	39		
事業活動の概要 （事業内容、従業員数、 敷地面積、延べ床面積等）	事業内容：情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売 従業員数：380名 延べ床面積：10,823.30㎡		
商標又は商号			

(3) 地球温暖化対策推進者（事業所に選任者がいる場合）

所属部署	電話番号
総務部	048-825-6217

2 事業所の地球温暖化対策推進における基本方針（事業所で定めている場合）

事業者用に記載済み

3 事業所の地球温暖化対策における推進体制（事業所で定めている場合）

事業者用に記載済み

4 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計 画 期 間		22	年度	～	26	年度
削 減 目 標	エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ (必 須)	(必須) エネルギー原単位を前年度比、年平均1%改善する。				
	非エネルギー起源CO ₂	(該当する排出がある場合は必須)				
	そ の 他 温 室 効 果 ガ ス	(CO ₂ 以外の温室効果ガスを年間3,000t-CO ₂ 以上排出している場合は必須)				
	温 室 効 果 ガ ス (上 記 合 計)	エネルギー原単位を前年度比、年平均1%改善する。				
目 標 削 減 率 の 概 要 (C類事業所のみ)	基 準 排 出 量		t-CO ₂ /年			
	排 出 可 能 上 限 量 (計 画 期 間 合 計)		t-CO ₂ /年	平均削減率		

5 事業所の温室効果ガス排出量（Ｂの事業所のみ記載）

（１）計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

			計 前	画 年	提 出	計画期間				
			度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
CO ₂	エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	目標			4,511					
		実績								
	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	目標								
		実績								
	CO ₂ の 合 計	目標			4,511					
		実績								
そ の 他 の 温 室 効 果 ガ ス	メ タ ン	目標								
		実績								
	一 酸 化 二 窒 素	目標								
		実績								
	ハ フ ロ カ ー ボ ン	目標								
		実績								
	パ フ ロ カ ー ボ ン	目標								
		実績								
	六 フ ッ 化 硫 黄	目標								
		実績								
	そ の 他 の 温 室 効 果 ガ ス 合 計	目標								
		実績								
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		目標			4,511					
		実績								

（２）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況

CO₂換算（t-CO₂/t-CO₂）

エネルギー起源CO ₂			計 画 提 出 度 前 年 度	計画期間					
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量原 単 位	単位	目標		1. 9647					
		実績	2. 1644						
活 動 規 模 の 指 標	○	生産量	○○あたり						
	○	出荷額	○○あたり						
	○	従業員数	○○あたり						
	○	床面積	○○あたり						
	●	(CVCF排出量) (※自由記載)	t-CO2あたり	2, 042					

※○○には活動規模の指標となる単語を記入してください。例 m、t、百万円 など
※その他の原単位（例：非エネルギー起源を含んだすべてのCO₂ など）を記載したい場合は、別紙4号に記載してください。

6 温室効果ガス削減に係る状況（Cの事業所のみ記載）

（1） 基準排出量の算定方法（エネルギー起源CO₂）

基準排出量 （過去の実績排出量の平均値）	基準年度		年～		年
	平均値 （基準排出量）				
その他の方法					

※過去の実績排出量は別紙4号

（2） 基準排出量の変更

変更年度		年度	変更理由	
変更年度		年度	変更理由	
変更年度		年度	変更理由	

（3） 削減期間

	年度から		年度まで
--	------	--	------

（４）計画期間の温室効果ガス排出量の推計

		計 画 期 間		CO ₂ 換算（t-CO ₂ ）					
		開 始 前 年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	計画期間合計
エネルギー起源CO ₂									
決定及び予定の量	基準排出量（A）								
	削減率％（B）								
	排出量上限（C）								
	削減量（D）								
実績	排出量（E）								
	削減量％ （F＝A-E）								
非エネルギー起源CO ₂									
目標	排出量（G）								
実績	排出量（H）								
	削減量 （I＝G-H）								
その他温室効果ガス									
メ タ ン	目標	排出量（J1）							
	実績	排出量（K1）							
	削減量 （L1＝J1-K								
一 酸 化 炭 素	目標	排出量（J2）							
	実績	排出量（K2）							
	削減量 （L2＝J2-K								
ハイドロフルオ ロカーボン	目標	排出量（J3）							
	実績	排出量（K3）							
	削減量 （L3＝J3-K								
パーフルオロ カーボン	目標	排出量（J4）							
	実績	排出量（K4）							
	削減量 （L4＝J4-K								
六フッ化二窒素	目標	排出量（J5）							
	実績	排出量（K5）							
	削減量 （L5＝J5-K								
小 計	目標	排出量（J7）							
	実績	排出量（K7）							
	削減量 （L7＝J7-K								

（５）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況

			計 画 期 間		CO ₂ 換算（t-CO ₂ /〇〇）				
			開 始 前 年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度
エネルギー起源CO ₂ 排 出量原単位		単位	目標						
		実績							
活動規模の指標	生産量	〇〇あたり							
	出荷額	〇〇あたり							
	従業員数	〇〇あたり							
	床面積	〇〇あたり							
	（ ） （※自由記 載）	〇〇あたり							

- 7 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量
別紙１－１、１－２号（注：直近３年間及び基準排出量（Ｃ類のみ）となる３年間の数値）
- 8 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況
別紙２号
- 9 過年度における温室効果ガスの推移
別紙３号
- 10 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価
別紙４号

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ
		揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ
		ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ
		灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ
		軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ
		B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ
		石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ
		石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
			一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ
			無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ
		石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ
		コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ
		コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.0110	t-C/GJ
		高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ
		転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ
		その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
		産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ
		産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		小計								
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
			夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
		その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO ₂ /GJ	
		自ら生成した電力の供給		千kWh					t-CO ₂ /千kWh	
		小計								
	合計						0.0258			

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ
		揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ
		ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ
		灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ
		軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ
		B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ
		石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ
		石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
			一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ
			無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ
		石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ
		コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ
		コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.0110	t-C/GJ
		高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ
		転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ
		その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
		産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ
		産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		小計								
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
			夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
		その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO ₂ /GJ	
		自ら生成した電力の供給		千kWh					t-CO ₂ /千kWh	
		小計								
	合計						0.0258			

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ
		揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ
		ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ
		灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ
		軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ
		B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ
		石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ
		石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
			一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ
			無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ
		石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ
		コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ
		コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.0110	t-C/GJ
		高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ
		転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ
		その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
		産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ
		産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		小計								
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
			夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
		その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO ₂ /GJ	
		自ら生成した電力の供給		千kWh					t-CO ₂ /千kWh	
		小計								
	合計						0.0258			

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂
エネルギー起源CO ₂	燃料及び熱	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ
		揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ
		ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ
		灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ
		軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ
		A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ
		B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ
		石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ
		石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
			一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ
			無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ
		石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ
		コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ
		コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.0110	t-C/GJ
		高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ
		転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ
		その他燃料	都市ガス（※）	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
				6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ
		産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ
		産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ
		小計								
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）		千kWh	9.97	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
			夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO ₂ /千kWh
		その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh
		小計								
	外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO ₂ /GJ	
		自ら生成した電力の供給		千kWh					t-CO ₂ /千kWh	
		小計								
	合計						0.0258			

種類			使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
			①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12				
			数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
エネルギー 起源CO ₂	燃料 及び熱	原油（コンデンセートを除く）			kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ			
		原油のうちコンデンセート（NGL）			kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ			
		揮発油（ガソリン）			kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ			
		ナフサ			kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ			
		灯油		87	kL	36.7	GJ/kL		3,193	82	0.0185	t-C/GJ	217	
		軽油			kL	37.7	GJ/kL				0.0187	t-C/GJ		
		A重油			kL	39.1	GJ/kL				0.0189	t-C/GJ		
		B・C重油			kL	41.9	GJ/kL				0.0195	t-C/GJ		
		石油アスファルト			t	40.9	GJ/t				0.0208	t-C/GJ		
		石油コークス			t	29.9	GJ/t				0.0254	t-C/GJ		
		石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t				0.0161	t-C/GJ		
			石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³				0.0142	t-C/GJ		
		可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t				0.0135	t-C/GJ		
			その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³				0.0139	t-C/GJ		
		石炭	原料炭		t	29	GJ/t				0.0245	t-C/GJ		
			一般炭		t	25.7	GJ/t				0.0247	t-C/GJ		
			無煙炭		t	26.9	GJ/t				0.0255	t-C/GJ		
		石炭コークス			t	29.4	GJ/t				0.0294	t-C/GJ		
		コールタール			t	37.3	GJ/t				0.0209	t-C/GJ		
		コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³				0.0110	t-C/GJ		
		高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³				0.0266	t-C/GJ		
		転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³				0.0384	t-C/GJ		
		その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	13	千Nm ³	45		GJ/千Nm ³	585	15	0.0136	t-C/GJ	29
				13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12		GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
				13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04		GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
				12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86		GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
				6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3		GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
	産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ				
	産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
	温水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
	冷水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
	小計						3,778		97		246			
	電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）	5,882	千kWh	9.97	GJ/千kWh	58,644	0.0258	1,513	0.386	t-CO ₂ /千kWh	2,270	
			夜間（22時～翌8時）	3,903	千kWh	9.28	GJ/千kWh	36,220		934	0.386	t-CO ₂ /千kWh	1,507	
			その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
		小計						94,863		2,447		3,777		
	外部供給	自ら生成した熱の供給			GJ						t-CO ₂ /GJ			
		自ら生成した電力の供給			千kWh						t-CO ₂ /千kWh			
小計														
合計						98,641	0.0258	2,545			4,023			

種類			使用量		単位当たり発熱量		熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量		
			①		②		③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12		
			数値	単位	単位		GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂		
燃料及び熱エネルギー起源CO ₂	原油（コンデンセートを除く）			kL	38.2	GJ/kL		0.0258		0.0187	t-C/GJ		
	原油のうちコンデンセート（NGL）			kL	35.3	GJ/kL				0.0184	t-C/GJ		
	揮発油（ガソリン）			kL	34.6	GJ/kL				0.0183	t-C/GJ		
	ナフサ			kL	33.6	GJ/kL				0.0182	t-C/GJ		
	灯油		50	kL	36.7	GJ/kL	1,835		47	0.0185	t-C/GJ	124	
	軽油			kL	37.7	GJ/kL				0.0187	t-C/GJ		
	A重油			kL	39.1	GJ/kL				0.0189	t-C/GJ		
	B・C重油			kL	41.9	GJ/kL				0.0195	t-C/GJ		
	石油アスファルト			t	40.9	GJ/t				0.0208	t-C/GJ		
	石油コークス			t	29.9	GJ/t				0.0254	t-C/GJ		
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t				0.0161	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³				0.0142	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t				0.0135	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³				0.0139	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t				0.0245	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7	GJ/t				0.0247	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9	GJ/t				0.0255	t-C/GJ		
	石炭コークス			t	29.4	GJ/t				0.0294	t-C/GJ		
	コールタール			t	37.3	GJ/t				0.0209	t-C/GJ		
	コークス炉ガス			千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³				0.0110	t-C/GJ		
	高炉ガス			千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³				0.0266	t-C/GJ		
	転炉ガス			千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³				0.0384	t-C/GJ		
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	70	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		3,150	81	0.0136	t-C/GJ	157
			13A:43.12MJ/m ³		千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³				0.0136	t-C/GJ	
			13A:46.04MJ/m ³		千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³				0.0136	t-C/GJ	
			12A:41.86MJ/m ³		千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³				0.0136	t-C/GJ	
			6A:29.30MJ/m ³		千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³				0.0136	t-C/GJ	
	産業用蒸気			GJ	1.02	GJ/GJ				0.0600	t-CO ₂ /GJ		
	産業用以外の蒸気			GJ	1.36	GJ/GJ				0.0570	t-CO ₂ /GJ		
温水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
冷水			GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
小計						4,985		129		282			
電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）	6,036	千kWh	9.97	GJ/千kWh	60,179	0.0258	1,553	0.386	t-CO ₂ /千kWh	2,330	
		夜間（22時～翌8時）	3,969	千kWh	9.28	GJ/千kWh	36,832		950	0.386	t-CO ₂ /千kWh	1,532	
	その他の買電			千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計						97,011			2,503		3,862	
外部供給	自ら生成した熱の供給			GJ						t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給			千kWh						t-CO ₂ /千kWh			
	小計												
合計						101,996	0.0258	2,632			4,143		

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃コムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合	計				

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃コムタイ以外、の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②
			数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t		2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t		2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t		1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t		2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t		2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t		1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t		0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL		2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL		2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t		1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t		0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t		0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t		0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t		0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t		0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t		0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t		1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t		0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t		2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL		2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t		3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t		3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t		2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³		2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³		0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³		2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t		2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t		0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t		1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t		0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t		3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t		0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t		1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t		1 t-CO ₂ /t	
	小計					
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン			t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素			t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン					
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン					
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄			t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計					
合計						

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃コムタイ以外、の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
			①		②	③=①×②
			数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t		2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t		2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t		1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃コムタイ以外、の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t		2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t		2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t		1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t		0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL		2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL		2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t		1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t		0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t		0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t		0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t		0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t		0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t		0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t		1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t		0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t		2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL		2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t		3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t		3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t		2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³		2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³		0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³		2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t		2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t		0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t		1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t		0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t		3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t		0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t		1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t		1 t-CO ₂ /t	
	小計					
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン			t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素			t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン					
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン					
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
			t-		t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄			t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計					
合計						

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合計					

	種類		使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
			①	②	③=①×②
			数値	単位	t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のものを除く）及び動物性のものを除く	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のものと動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.759 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.428 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.449 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.440 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.471 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.000 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.415 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.4 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.3 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.3 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.0 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.7 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.1 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t	
		生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t	
	エチレンの製造		t	0.028 t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.4 t-CO ₂ /t	
	電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.005 t-CO ₂ /t	
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t	
	小計				
その他温室効果ガス			数値	単位	地球温暖化係数
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン				
			t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
合	計				

No	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	180200	その他	18_その他	CPU運用見直しによる削減	平成22年度	年度の途中より実施
2	180200	その他	18_その他	社内サーバの統合	平成22年度	年度の途中より実施
3	180200	その他	18_その他	執務室集約化に伴う不要スペースの排除	平成22年度	年度の途中より実施
4	180200	その他	18_その他	大型プリンターの運用見直しによる削減	平成22年度	年度の途中より実施
5	180200	その他	18_その他	デスクトップPCをノートPCへ切替	平成22年度	年度の最後に実施のため、効果は翌年度から
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(1) 温室効果ガスの推移

CO₂換算 (t-CO₂)

※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基準年 ※2								
燃料等使用量の原油換算量 (kL)	0	0	0	0	2,545	2,611	2,632	2,814
エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0	4,023	4,115	4,143	4,420
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0	0	0	0	0
その他温室効果ガス								
メタン	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイドロフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0
パーフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0
六フッ化硫黄	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	4,023	4,115	4,143	4,420

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

(2) 原単位

O₂換算 (t-CO₂/t-CO₂)

※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基準年 ※2								○
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位					3.9170	3.2024	2.4132	2.1644
活動規模の指標	○ 生産量	〇〇あたり						
	○ 出荷額	〇〇あたり						
	○ 従業員数	〇〇あたり						
	○ 床面積	〇〇あたり						
	● (CVCF排出量) (※自由記載)	t-CO ₂ あたり			1,027	1,285	1,717	2,042

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

ＡＧＳグループの平成２１年度の環境分野への取組は以下のとおりである。

１．地域環境活動

（１）自然環境活動（植林活動）

平成２１年１０月３１日（土）、「埼玉県森林づくり協定」に基づき、埼玉県東秩父村の二本木峠と埼玉高原牧場用地にツツジ、コナラ、カエデやモミジなど約４００本の苗木を植樹しました。

来年度も約４００本の苗木を植樹する予定であり、森林の果たす役割（二酸化炭素の吸収、県土の保全、水資源のかん養、生物多様性の保全等）の重要性を認識し、植林活動を推進します。

（２）教育支援活動

環境保護と教育支援活動の推進を図るために、ベルマーク（カートリッジの回収）や古紙等を地域小学校PTAへ毎年度提供しています。

２．環境管理活動

（１）電気使用量の削減

① ＡＧＳグループオフィス系執務室の平成２１年度の削減は１，７８５，５４１Kwhとなり、平成２０年度比４．３％削減を行いました。

② 汎用機ディスク装置の集約を図り、ＩＤ機器関連の消費エネルギーの削減を図っています。

３．その他

チャレンジ２５への参加登録を実施しました。

チームマイナス６％の切替ですが、引続き平成２１年度も「クールビズ」、「ウォームビズ」の実施、グリーン購入（エコマーク、グリーンマーク、グリーン購入法適合商品を優先的に購入する）の推進を図っています。